



コレモク 第1号

ウッドテクノス株式会社の事務所棟

1方向GIR接合ラーメン構法によって、
室内に柱のない空間を実現した2階建て事務所です。



高知県産スギ・ヒノキによる大断面集成材を使用して建てる木造ビルを高知モデルとして開発を進めてきました。これまで、他の材料による工法が多かった4階建までの建築を、高知県の木材と技術で建てられます。この高知モデルを、コレからのモク造建築の一つとしてとらえ、みんなで普及・推進していけるように「コレモク」と命名しました。

詳しくはホームページにて



【建物概要】

- 【事業主】 ウッドテクノス株式会社
- 【統括】 興建築工房
- 【構造】 北添建築研究室
- 【施工】 東山建設株式会社
- 【構造材(製造・加工)】 ウッドテクノス株式会社
- 【建築面積】 108.00㎡
- 【延べ面積】 171.02㎡
- 【主スパン】 7m



会社概要

本社・プレカット工場

〒781-0112 高知市仁井田朝日ヶ丘4670番地
TEL.088-847-0211 / FAX.088-847-6433

PC工場 TEL.088-847-0373

管理部 FAX.088-803-9300

双葉台工場 (製材)

〒783-0055 南国市双葉台20番地
TEL.088-862-2005 / FAX.088-864-0400

岡豊工場 (集成材製造)

〒783-0043 南国市岡豊町小蓮420番地
TEL.088-866-9800 / FAX.088-866-0440



■本社・プレカット工場



■双葉台工場



■岡豊工場

wood-technos.jp

HPは検索サイトから [ウッドテクノス 高知](#) 検索



会社案内



ウッドテクノス株式会社

wood-technos.jp

進化するウッドテクノス 目指すは「総合木材企業」

私たちは、日々進化する木材・建設業に対応すべく「テクノロジー」と「職人技術」の融合を目指します。

古き良き技術を継承しつつ、常に新しい技術を用いることで木材を必要とする全てのお客様のニーズにお応えします。

製造加工から販売に至るまで、木材に関わるあらゆる分野において高知から全国へ、また世界へと向けて挑戦を続けて参ります。

Step 1

製材



伐採された原木は、形状・節・太さ・長さの全てにおいて異なります。完成品を見据えてそれぞれの丸太から取り方をどのように決めるかは、製材効率はもちろん商品価値を見出す上でとても重要な要素となります。経験豊かな職人の目と様々な機器によって素材を適正に見極め、お客様のニーズに合わせた製材を行います。

Step 2

加工



自社内で製材した木材は様々な用途に応じて加工されます。加工商品は、一般材・構造材・集成材などの住宅建築に使用されるものや、土木・建具・農業に使用されるものまで多種多様です。また、集成材・プレカット加工は自社加工製品を代表するもので、県内外から多くの高評価をいただいています。

Step 3

販売



加工された木材は木造建築物に限らず鉄筋建築物の一部に使用されるなど、美観・香りなどの優位性が認められ近年様々な業界にニーズが生まれてきました。それぞれの「木」が持つ特性をより深く追及・探究し、一般住宅から大型施設まであらゆるシーンでご満足いただけるご提案をさせていただきます。

製材

60年積み重ねた経験と実績に基づいて。

主に高知県産の杉・桧を製材しています。原木から製材された木材は、まず「除湿式低温乾燥機」にかけられ、木の持つ自然な風合いを最大限に生かした状態に仕上げられます。建築用材が中心ですが、規格サイズのみならずお客様の様々なニーズに合わせたオーダーサイズの加工にも対応しています。



集成材

加工技術の向上を図り、森林資源に「付加価値」を。

一般住宅用はもとより、公共施設などの大型施設の構造部材となる構造用大断面集成材の加工を行っています。JAS規格に基づいて製造される集成材は、品質はもちろん力学的に計算された強度を持ち備えています。県産材の付加価値を付け、限られた資源を無駄なく有効に使用し、木材業界全般の発展と継承を担います。

【生産品】

構造用集成材(大断面・中断面・小断面)
通直材、湾曲材(梁・桁その他)

【生産可能寸法】

厚さ300mm × 幅2000mm × 長さ18m

JAS認証内容【認証番号JPIC-LT261】

使用接着剤	樹種	対象異等級	同一等級
レゾルシノール系 使用環境 A・B・C	スギ	E85-F255	E105-F345
	ヒノキ	E105-F300	
水性ビニールウレタン系 使用環境 C	スギ	E85-F255	E75-F270
	ヒノキ	E105-F300	E105-F345



プレカット

特殊技術を用い、木材に新たな可能性を求めて。

近年、国内で建設される木造住宅(在来工法)における構造材のプレカット導入率は90%と、需要の高い商品となりました。難度の高い様々な形状の加工品はCAD/CAMシステムの全自動機により加工しています。プレカット工法は加工形状が豊富なことや精度も高いことから、現代の建築において重要な役割を担っています。

最新鋭プレカットシステム導入

リアル3DのCADシステムと全自動多種加工機(MPS-55)の併用により、難易度の高いプレカット加工もスピーディかつ正確に行うことが可能です。

